



2019年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2019年2月12日

(証券コード6381 東証1部 機械)

2019年3月期第3四半期決算補足説明資料

	2019年3月期3Q		2018年3月期3Q		前年同期対比			2018年5月10日に発表した 予想値対比	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増加額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	28,695	—	23,413	—	5,282	22.6%	—	36,000	79.7%
営業利益	3,434	12.0%	2,641	11.3%	792	30.0%	0.7	4,000	85.9%
経常利益	3,784	13.2%	3,202	13.7%	582	18.2%	△0.5	4,400	86.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,434	8.5%	2,015	8.6%	418	20.8%	△0.1	(通期) 2,820	86.3%
平均為替レート 円/\$	109.61	(実績)	111.92	(実績)	2.31 円/\$の円高				
平均為替レート 円/€	130.97	(実績)	124.55	(実績)	6.42 円/€の円安				

(%) (P) は少数点以下
第2位を四捨五入

・売上高は22.6%増収
 ・営業利益は30.0%増益
 ・経常利益は18.2%増益
 ・当期純利益は、20.8%増益
 ●増収・増益となりました。
 株主の皆様によるご支援の賜物と
 深く感謝申し上げます。

2019年3月期3Q 連結業績 損益計算書

	2019年3月期3Q		2018年3月期3Q		前年同期対比			2018年5月10日に発表した 予想値対比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増加額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	28,695	—	23,413	—	5,282	22.6%	—	36,000	79.7%
売上原価	16,197	56.4%	13,021	55.6%	3,176	24.4%	0.8		
売上総利益	12,498	43.6%	10,392	44.4%	2,105	20.3%	△0.8		
販管費	9,064	31.6%	7,750	33.1%	1,313	16.9%	△1.5		
営業利益	3,434	12.0%	2,641	11.3%	792	30.0%	0.7	4,000	85.9%
営業外収益	437	1.5%	602	2.6%	-164	△27.3%	△1.0		
営業外費用	86	0.3%	41	0.2%	45	109.1%	0.1		
経常利益	3,784	13.2%	3,202	13.7%	582	18.2%	△0.5	4,400	86.0%
特別利益	10	0.0%	1	0.0%	9	625.7%	0.0		
特別損失	44	0.2%	139	0.6%	-95	△68.6%	△0.4		
税金等調整前純利益	3,751	13.1%	3,063	13.1%	687	22.4%	0.0		
法人税等	1,035	3.6%	935	4.0%	99	10.7%	△0.4		
非支配株主に帰属する 四半期純利益	282	1.0%	113	0.5%	169	149.3%	0.5		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,434	8.5%	2,015	8.6%	418	20.8%	△0.1	(通期) 2,820	86.3%
平均為替レート 円/\$	109.61	(実績)	111.92	(実績)	2.31	円/\$ の円高		(%) (P) は	
平均為替レート 円/€	130.97	(実績)	124.55	(実績)	6.42	円/€ の円安		少数点以下第2位を四捨五入	

①
②
③
④

- ①売上高：前年同期比+5,282百万円増 前期までに連結子会社化した中国SCR社、2019年3月期1Qに連結子会社化したイタリアの子会社および2Qより連結子会社化した台湾のANEST IWATA SPARMAX社による影響額は+3,243百万円。為替影響額+22百万円。
- ②原 価：前年同期比原価率は0.8P増加。連結子会社化の影響および製品ミックスによる。
- ③販売管理費：前年同期比+1,313百万円増加（販管費率△1.5P） 上記①の新規連結3社分としては+999百万円。
- ④営業外収益／費用：前年同期の為替差益 243百万円はゼロになり、為替差損21百万円が発生(その差 264百万円の利益減少)。

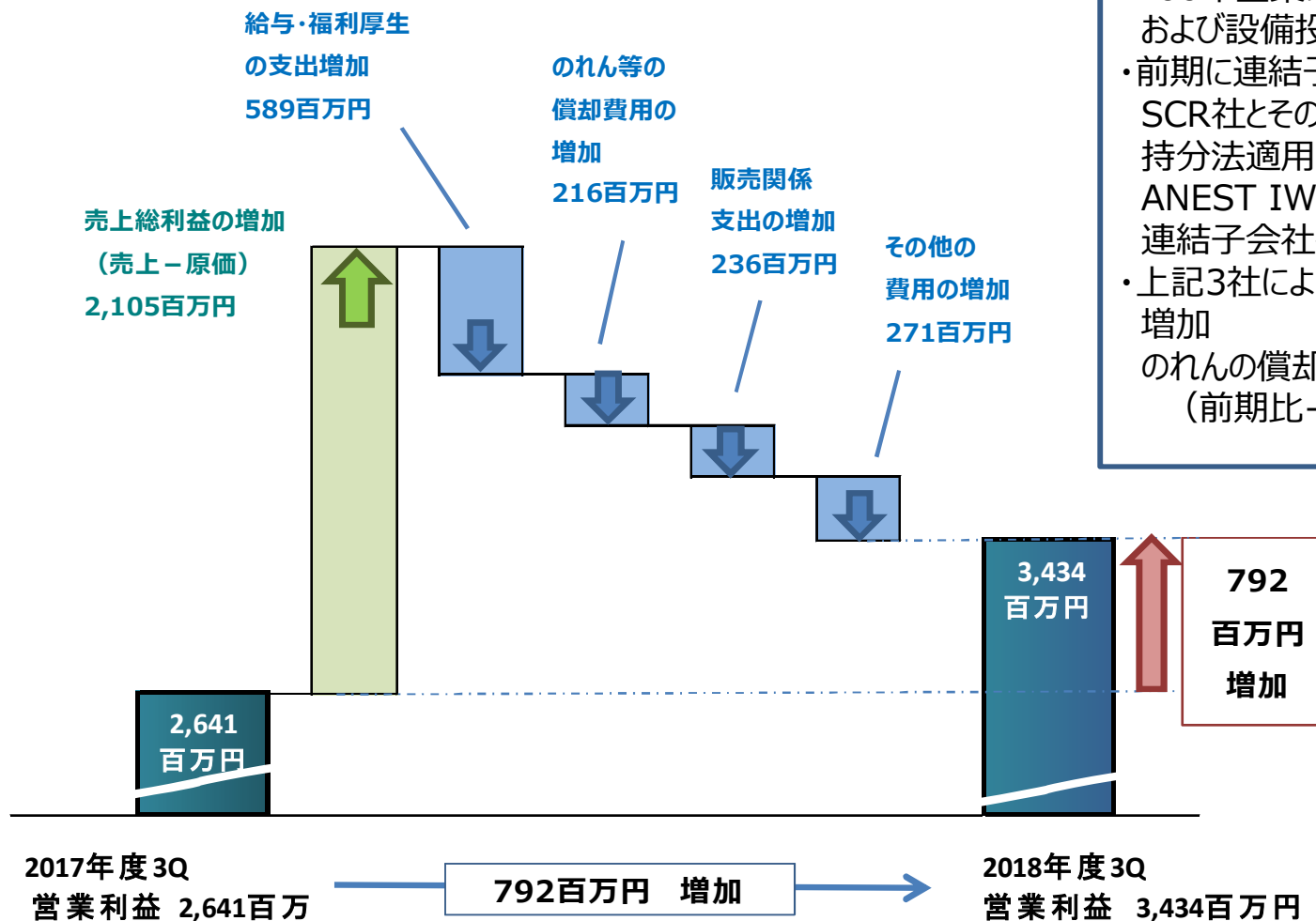
単位：百万円

	2017年3月期実績		2018年3月期実績		2019年3月期予想値		
	実績	構成比	実績	構成比	目標額	構成比	
売上高	29,548	100.0%	32,817	100.0%	36,000	100.0%	
内訳	圧縮機	14,336	48.5%	16,283	49.6%	—	—
	真空機器	1,754	6.0%	1,850	5.6%	—	—
	エアナジ—事業部	16,090	54.5%	18,133	55.3%	20,700	57.5%
	塗装機器	11,323	38.3%	12,073	36.8%	—	—
	塗装設備	2,134	7.2%	2,609	8.0%	—	—
	コーティング事業部	13,457	45.5%	14,682	44.7%	15,300	42.5%
営業利益	3,733	12.6%	3,824	11.7%	4,000	11.1%	
経常利益	4,139	14.0%	4,352	13.3%	4,400	12.2%	
当期純利益	3,400	11.5%	2,809	8.6%	2,820	7.8%	
為替レート ¥/\$	108.84	(実績)	112.19	(実績)	100.00	(想定)	
為替レート ¥/€	120.33	(実績)	126.67	(実績)	125.00	(想定)	
配当 中間期+期末=年間	9円+11円=20円 (特別利益あり)		10円+10円=20円		11円+10円=21円		

注) 2017年3月度の当期純利益には、特別利益856百万円を含みます。

2019年3月期3Q 連結業績 営業利益の変動要因

記載している数値は、前期対比の増減額

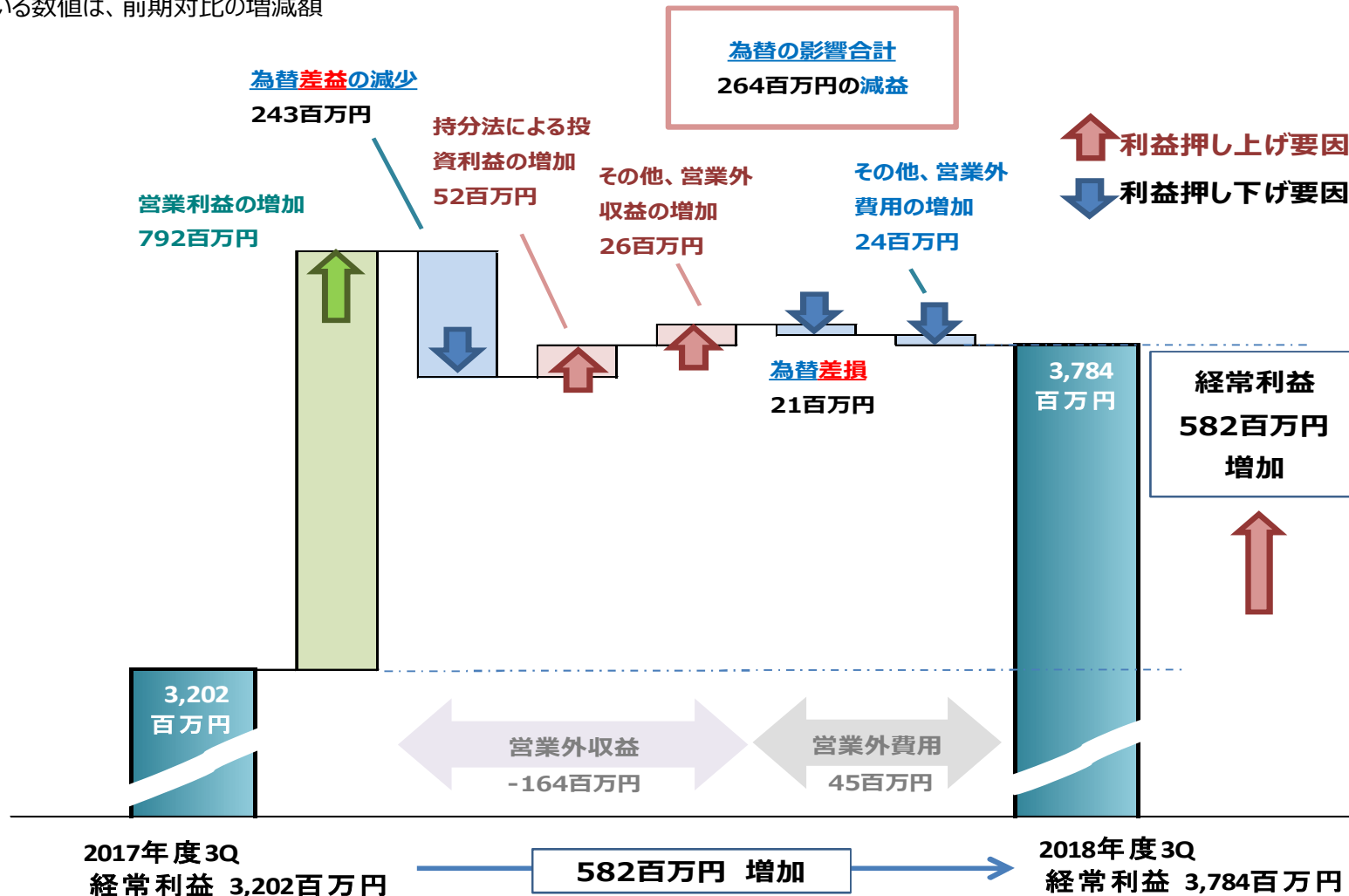


- ・100年企業に向けた人材投資
および設備投資等の増加
- ・前期に連結子会社化した中国
SCR社とその子会社、イタリアの
持分法適用関連会社および台湾
ANEST IWATA SPARMAX社の
連結子会社化による費用の増加
- ・上記3社によるのれん等の償却費
増加
のれんの償却額198百万円
(前期比+81百万円)

2019年3月期3Q 連結業績

経常利益の変動要因

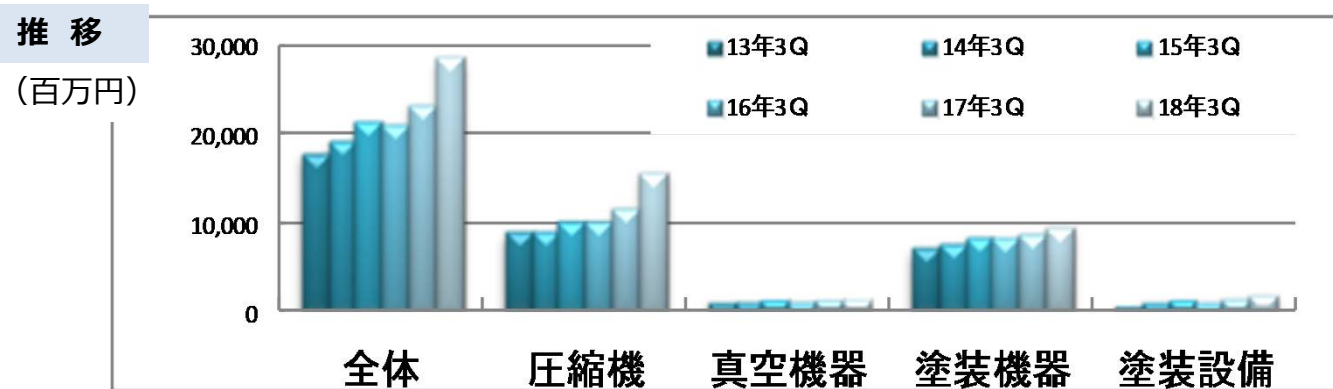
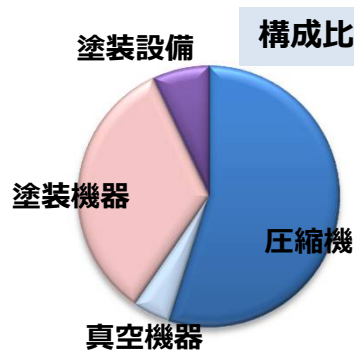
記載している数値は、前期対比の増減額



2019年3月期3Q 連結業績

売上高 製品別

		2019年3月期3Q		2018年3月期3Q		前期対比	増減
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エアエナジー 事業	圧縮機	15,760	54.9%	11,737	50.1%	4,022	34.3%
	真空機器	1,344	4.7%	1,349	6.0%	-5	-0.4%
小計		17,104	59.6%	13,086	55.9%	4,017	30.7%
コーティング 事業	塗装機器	9,597	33.4%	8,818	37.7%	778	8.8%
	塗装設備	1,994	7.0%	1,507	6.4%	486	32.2%
小計		11,591	40.4%	10,325	44.1%	1,264	12.2%
合計		28,695	100.0%	23,413	100.0%	5,282	22.6%



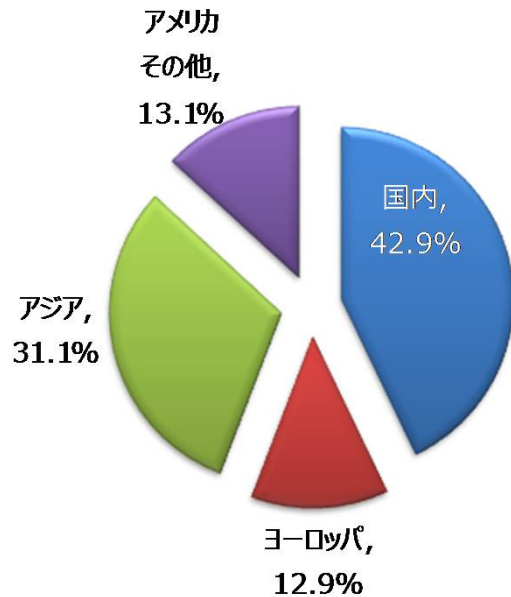
エアエナジー事業

- ・圧縮機：前期に連結子会社化した中国SCR社に加えて台湾のANEST IWATA SPARMAX社実績にて伸長。
- ・真空機器：日本とアジアは伸長も、2Qに引き続き、海外で前期割れとなり減少。

コーティング事業

- ・塗装機器：ヨーロッパ、アジアを主として、全エリアで伸長。
- ・塗装設備：アジアおよびアメリカの実績により伸長。

売上高の地域別構成比

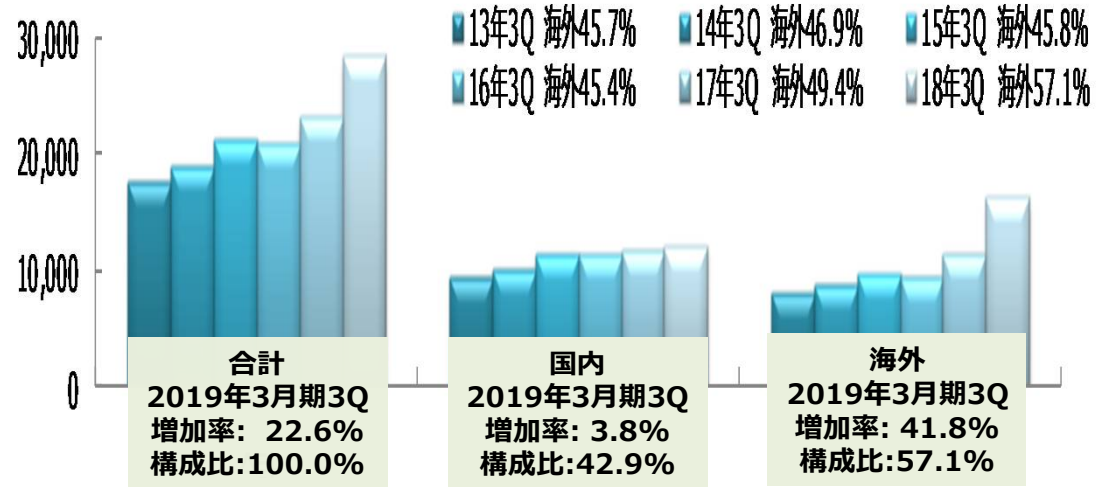


- * 海外の売上高比率は、前年比で7.7P増加
- * 海外では、2Qに続き、金額・割合においてアジアが大きく伸長

上記はいずれも、主として前期に連結子会社化したSCR社の影響による

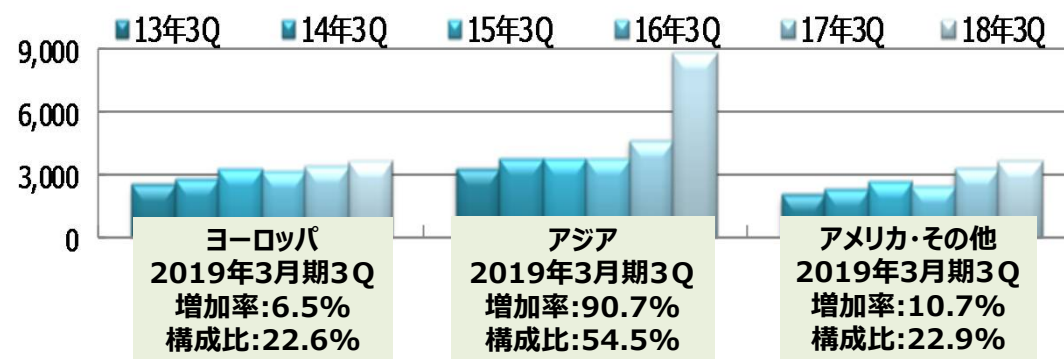
● 国内と海外の売上高推移

(百万円)



● 海外の売上高推移（合計を100とする）

(百万円)



※納入地ベースでの実績換算をしています。

2019年3月期3Q 連結業績 売上高 製品/地域別の増減

	全体	エアナジ-事業		コーティング事業	
		圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	3.8%	○	◎	△	●
ヨーロッパ	6.5%	△	X	◎	-
アジア	90.7%	◎	◎	○	◎
北米その他	10.7%	◎	X	○	◎
海外計	41.8%	◎	X	◎	◎
計	22.6%	34.3%	-0.4%	8.8%	32.2%

凡例

◎10%~

△0%~3%

○3%~10%

▽-0%~-3%

●-3%~-10%

X-10%~

- ・日本では、塗装設備において1Qの凹みを取り戻せず減少。
- ・ヨーロッパでは、2Qに続き、真空機器が減少。塗装機器においては、自動車補修塗料メーカーとの協業や、2Qより連結対象となったイタリアの子会社販売分により増加。
- ・アジアでは、前期に連結子会社化したSCR社および台湾のANEST IWATA SPARMAX社の販売分や、アセアンを主とした真空機器、中国を主とした塗装設備が好調に推移。
- ・北米その他では、2Qに続き、装置メーカー向け販売の減少により真空機器が減少。

※納入地ベースでの実績換算をしています。

(百万円)	2019年3月期3Q	2018年3月期3Q	増減金額	前年同期比
日本	12,298	11,853	445	3.8%
ヨーロッパ	3,711	3,484	227	6.5%
アジア	8,931	4,683	4,247	90.7%
北米その他	3,754	3,392	361	10.7%
合計	28,695	23,413	5,282	22.6%

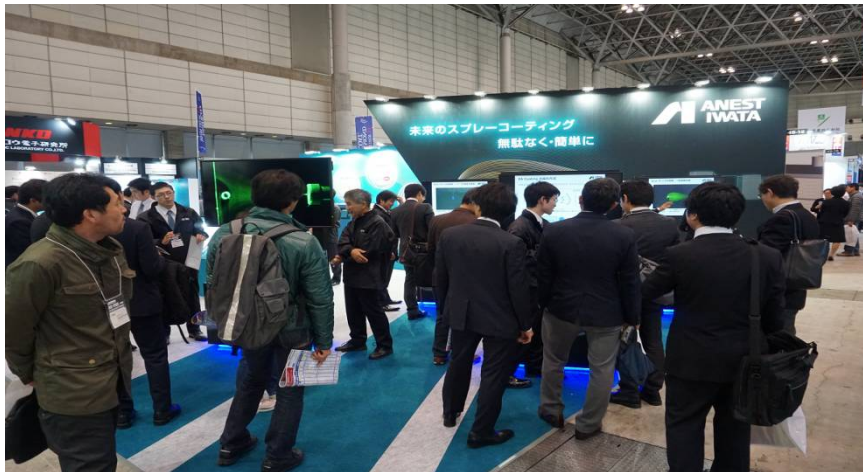
(百万円)

	設備投資額 売上対比	減価償却 売上対比	研究開発費 売上対比	売上高
2017年3月期 (実績)	1,473 5.0% (計画値 2,000) 実行率 73.7% ・生産能力向上設備 ・製品開発 ・建屋改修等	1,127 3.8% (計画値 1,460) 77.2%	1,112 3.8% (計画値 1,077) 実行率 103.2% ・継続投資	29,548
2018年3月期 (実績)	2,458 7.5% (計画値 2,500) 実行率 98.3% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル、 コミュニケーションラウンジ ・本社技術開発研究施設	1,238 3.8% (計画値 1,200) 103.2%	1,078 3.3% (計画値 1,200) 実行率 89.8% ・継続投資	32,817
2019年3月期 (3Q累計実績)	2,500 6.9% (2,051) 実行率 82.0% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・本社コーティング技術開発研究 施設 ・その他	1,400 3.9% (1,174) 83.9%	1,200 3.3% (859) 実行率 71.6% ・継続投資	36,000

注) 2019年3月期は計画値 研究開発費は、研究開発に係る一般管理費と製造経費の合計です。

展示会へ出展!

昨年12月に、「第一回高機能塗料展」に出展いたしました。「圧縮空気を使用しない」、「高帯電な霧化粒子」により無駄なく簡単に塗布を行うことができる当社の新しい技術、「EAコーティング技術」を中心ご紹介し、非常に多くの皆様に関心を持っていただきました。



アネスト岩田 ターンパイク箱根

自転車レースイベント
箱根ヒルクライム2018へ協賛しました。



新・会社紹介ムービーの完成
会社紹介ムービーをリニューアルしました。



将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。